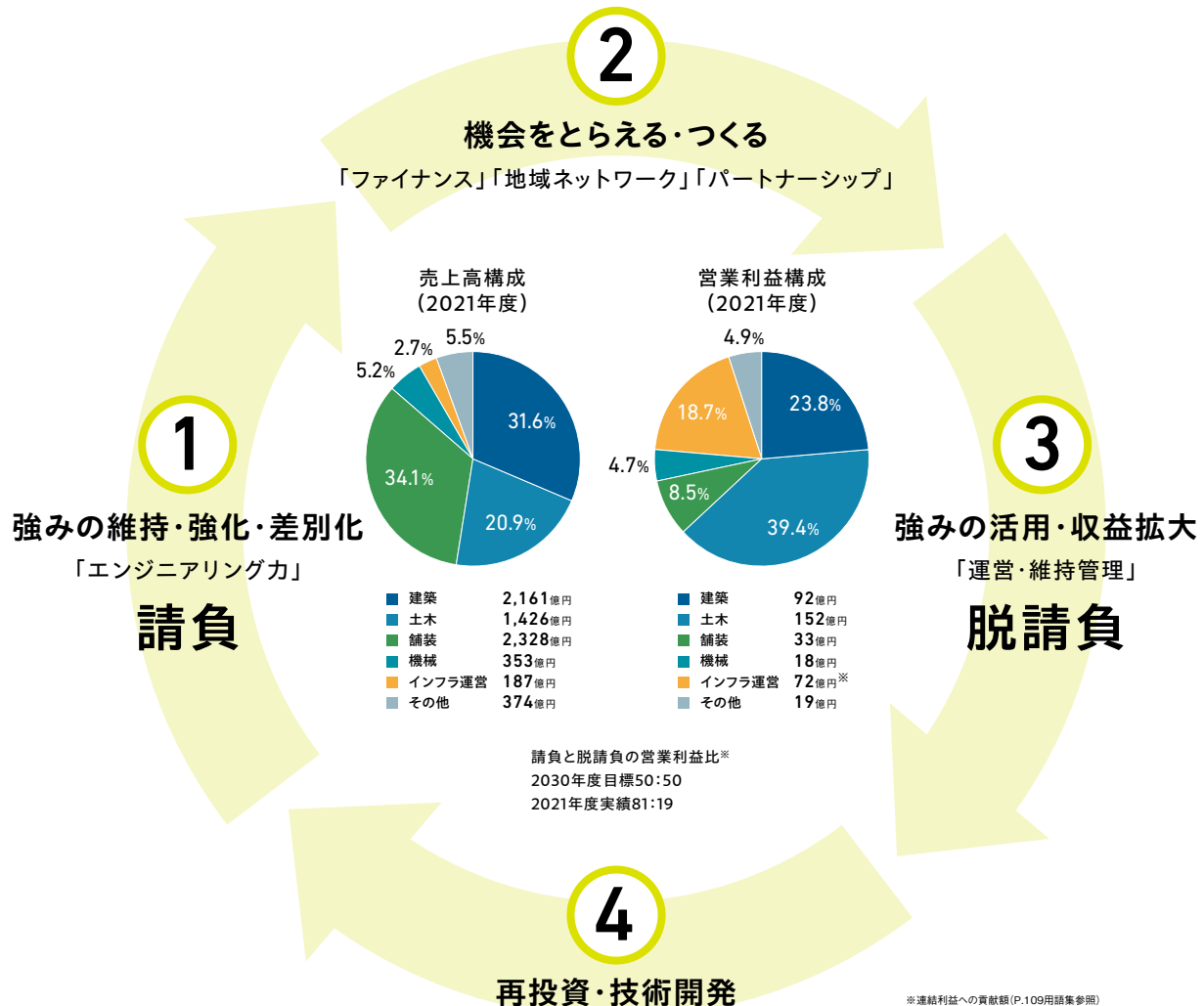


2. 請負×脱請負モデル(強みの強化・活用モデル)

請負×脱請負

自社収益の安定化と拡大を図りながらも、事業リスクをとり、「総合インフラサービス企業」だから実現できる付加価値の創造とインフラサービスの継続的な社会への提供を通じて、企業価値向上を図ります。



- ① 請負事業(建設等)により、強みの「エンジニアリング力」の強化・維持を図る。
- ② エンジニアリングと金融の融合により、機会の創出とリスク低減を図る。
- ③ 強みを活用した新領域を開拓し、収益を拡大する。(脱請負のインフラ事業)
- ④ 安定的かつ継続的なリターンを得て、さらなる再投資を行う。

脱請負、すなわち「請負を脱する」という言葉には、従来の請負ビジネスだけでなく、建設事業者としてプロジェクトの事業リスクを取るという意味が込められています。具体的にいえば、空港や上下水道、有料道路のような社会インフラの運営権を取得し、建設、運営、維持管理などインフラビジネスを一気通貫に手がけるというビジネスです。請負ビジネスはある種のフィービジネスですが、こういった投資を伴うインフラビジネスは、エンジニアリングや金融のノウハウを活用すれば請負ビジネスを超えるリターンを生み出すことも可能であり、さらなる成長投資につながります。